

ガソリン携行缶 3 L

消防法適合品



約2L
収容量(推奨給油量)

容量3Lまで給油すると、ガソリンが漏れる恐れがあるので、収容量を目安に給油してください。

火気厳禁

第四類 第一石油類 危険等級Ⅱ

この度は、アストロプロダクツの商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

- 使用前には、必ず取扱説明書をよく読み、ガソリン（以降「レギュラー・ハイオクガソリン、軽油、灯油を含む総称」）を、安全に取り扱い、ガソリン携行缶（以降「缶」）を正しく使用してください。
- 警告・注意事項は、商品を安全に使用し、あなたや他の人々への危害や財産への損害を、未然に防ぐためのものなので、よく理解し、必ず厳守してください。
- 誤った使用方法により生じた、商品破損、人体への傷害、物品への損害、その他のいかなる損害に対しても、当社では一切の保証、並びに責務を負いかねますので、ご了承ください。

警告 この表示を無視し、誤った使い方をすると、使用者が死亡または重傷を負う、危険な状態を生じさせる可能性が、想定される内容を示しています。

- ガソリンは、非常に危険な液体です。取り扱いには十分注意し、必ず周囲の安全を確認してください。
- 本製品は、自動車整備士資格を有する方および本製品の使用に関する十分な知識を持ち、ガソリンを取り扱う作業の経験豊富な方が使用してください。
- 本製品は大事に扱ってください。ぶつかけたり、落としたりした場合は、必ず各部の異常を確認してください。
- 各部に異常がある場合は、使用を中止し、必ずお買い求めの販売店またはカスタマーサービスまで、問い合わせください。
- エア調節ネジを緩めるときや保管するときは、給油口を上向きにし、平らな地面に置いてください。
- 内圧によって、ガソリンが噴出する危険がありますので、必ずエア調節ネジを緩めてから、キャップを開けてください。
- 酸化したガソリンは、引火や爆発の恐れがあるので、エア調節ネジを緩めるときやキャップを開けるときは、火気厳禁とした上で、必ず静電気を除去してください。
- ガソリン以外の燃料や液体を給油したり、種類の違うガソリンを混ぜないでください。
- 缶を移動、運搬したときは、必ずエア調節ネジを緩め、缶内の圧力を調節してください。圧力調節後は、エア調整ネジを確実に締め付けてください。
- ガレージなどの屋内や、汚れると損害が生じる恐れのある場所で、ガソリンを給油するときは、万が一こぼれても、人体に危険をおよぼさず、周辺を汚さない処置を施してください。
- 給油ノズルが、確実に取り付けられていることを確認してから、ガソリンを給油してください。
- 車や発電機、草刈機などにガソリンを給油するときは、必ずエンジンを停止してください。特に発電機や草刈機などは、エンジンを冷ましてから、ガソリンの給油を行ってください。
- 使用後は、キャップとエア調節ネジを確実に締め付け、缶をゆすり、キャップとエア調節ネジから、ガソリンが漏れてないことを確認してください。
- キャップ、給油ノズル、エア調節ネジに使用されているパッキンは消耗品です。パッキンが劣化すると、表面硬化が進み、割れや切れなどが生じ、ガソリンが漏れる恐れがあるので、定期的に点検を行い、表面が硬化した場合や、割れ、切れが見られる場合は、必ず新品のパッキンと交換してください。
- 容量3Lまで給油すると、キャップを開けたときに、ガソリンが漏れたり、溢れたりする恐れがあるので、必ず「収容量2L」を目安に給油してください。
- 内容物の有無に関わらず、以下の場所での使用や保管はやめてください。
 - ・火気の側、直射日光が当たる場所、暖房器具の側など、温度が上昇する高温な場所
 - ・作動中の発電機など、熱を放出する物の側
 - ・密閉した車内、室内など、風通しの悪い場所
 - ・雨降りや水の掛かる場所、濡れた場所、湿気の多い場所
 - ・整理整頓されていない場所、不安定な場所
- ガソリンは、火災の危険が極めて高い液体です。火災が発生すると、延焼拡大するため、ガソリンの保管を目的とした使用は控え、缶に給油されたガソリンは、短期間で使用してください。

注意 この表示を無視し、誤った使い方をすると、使用者が傷害を負う可能性が、想定される内容、および商品の故障、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 缶表面に付着したガソリン（特にハイオクガソリン）を、そのまま拭き取ったり、パーツクリーナーを用いて拭き取りを行うと、色落ちや変色する場合がありますので、予めご了承ください。
- 缶内には、サビ止め剤を吹き付けていますが、使用上は問題ありません。
- キャップ、給油ノズル、エア調整ネジの開閉時には、指などを挟まないよう注意してください。
- 万が一ガソリンがこぼれた場合は、ただちに拭き取ってください。
- こぼれたガソリンがモールの隙間に入ると、床などを濡らす恐れがあるので、モールを外して拭き取ってください。
- 長期間保管されたガソリンは、エンジンの不調原因となる恐れがあるので、使用しないでください。
- 缶を空の状態でも保管する場合は、パッキンの劣化を防ぐため、キャップ、エア調整ネジを緩めてください。
- 缶を空の状態でも長期間保管した後に使用する場合は、缶本体、キャップ、給油ノズル、エア調整ネジ、各パッキンに異常がないかよく確認してください。

ガソリン携行缶使用時の **重要なお知らせ！**

ガソリンは揮発性が高く、小さな火源でも引火、爆発する危険物です！！

※取扱説明書をよく読み、安全に正しく使用してください。

ガソリン携行缶に、ガソリンを給油するときの注意！	各部名称
<ul style="list-style-type: none"> ■缶、キャップ、エア調節ネジ、パッキンに異常がないか、確認してください。 ■セルフスタンドでは、所有者自ら給油することはできません。 ■必ず「収容量2L」を目安に給油してください。 ■ガソリン以外を給油したり、種類の違うガソリンを混ぜないでください。 ■給油後は、キャップとエア調節ネジを確実に締め付け、ガソリンが漏れないことを確認してください。 ■缶表面に付着したガソリンを、そのまま拭き取ったり、パーツクリーナーを用いて拭き取りを行うと、色落ちや変色する場合があります。 	
<p>車や発電機、草刈機などに、ガソリンを給油するときの注意！</p> <ul style="list-style-type: none"> ■エア調節ネジを緩めるときやキャップを開けるときは、火気厳禁とした上で、必ず静電気を除去してください。 ■平らな地面に置き、エア調節ネジを緩めてから、キャップを開けてください。 ■必ず、エンジンを停止させ、エンジンを冷ましてから、ガソリンの給油を行ってください。 ■こぼしたり、人体に付着させないように、慎重に給油してください。 	
<p>ガソリン携行缶を運搬、保管するときの注意！</p> <ul style="list-style-type: none"> ■缶内にガソリンを入れて車などで移動するときは、ポリエチレンの袋に入れ、受皿に置いてください。 ■トラックの荷台に載せて移動するときは、すべり止めマットなどを利用し、缶を置いた受皿が動かないようにしてください。 ■ガソリンも劣化するため、ガソリンを缶内に長期保管しないでください。 ■結露や湿気などによって、缶内がサビる恐れがあるので、ガソリンを長期保管しないでください。 ■ガソリンは揮発性が高く、内圧を変化させ、缶が変形する恐れがあるので、残ったガソリンは、ウエスなどで取り除いてください。 	

ガソリン携行缶で給油するときは **火気厳禁！**

ガソリン噴出注意！

- 周囲の安全をよく確認！
- キャップを開ける前にエンジン停止！
- キャップを開ける前にエア抜きする！
- 直射日光下、高温な場所厳禁！

※図と実際の商品では、形状が異なりますが、使用方法は同じです。

- 1 地面に置き静電気を逃がします。
- 2 ゆっくりと、エア調整ネジを緩めてください。
- 3 ノズルを取り付けてください。
- 4 エア調整ネジを締め、少しずつ給油します。
- 5 流量を見ながら、少しずつエア調整ネジを緩めてください。
- 6 給油後は、キャップとエア調整ネジを確実に締めてください。